



地理歴史 { 世界史A 世界史B 日本史A } (100点) { 日本史B 地理A 地理B } (60分)

この問題冊子には、「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」の6科目を掲載しています。解答する科目を間違えないよう選択しなさい。

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。
- 3 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
世界史A	4～23	左の6科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。
世界史B	24～49	
日本史A	50～75	
日本史B	76～102	
地理A	106～139	
地理B	140～174	

- ①時間を図って60分で終わってください。
- ②Classroom または右のQRコードから、
Google フォームを使った採点に参加してください。
入力・送信をすると得点が分かります。
- ③必ず12/19(水)までに解いて
送信してください。



日本史B

(解答番号 ~)

第1問 呉羽さんと綾羽さんのクラスは「歴史の論述」の授業に際し、主題を設定し研究した。次の年表甲・乙は、二人がそれぞれが設定した主題に沿って作成したものである。この年表に関する下の問いに答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

(配点 18)

【年表甲】		【年表乙】	
主題 時代	呉羽さんの主題 (I)	主題 時代	綾羽さんの主題 (II)
原始	<input type="text" value="A"/>	原始	<input type="text" value="B"/>
古代	応天門の変	古代	@ <u>法隆寺再建</u> (非再建説あり)
中世	<input type="text" value="興福寺仏頭"/> <input type="text" value="C"/> 応仁の乱	中世	<input type="text" value="興福寺仏頭"/> <input type="text" value="D"/> 祇園祭の復興
近世	<input type="text" value="E"/> 叡山焼き打ち 聚楽第を破却 一国一城令	近世	<input type="text" value="F"/> 東大寺大仏殿の復興
近代 現代	<input type="text" value="G"/> 空襲と原子爆弾 法隆寺金堂壁画の焼損	近代 現代	<input type="text" value="H"/> 薬師寺西塔・金堂の復元 高松塚古墳石室の解体修理

日本史B

問1 年表を参考にして、呉羽さんと綾羽さんの主題(I)・(II)の組合せとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 1

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ① I -- 宗教と文化財の関係史 | II -- 戦争と文化財の関係史 |
| ② I -- 戦争と文化財の関係史 | II -- 宗教と文化財の関係史 |
| ③ I -- 文化財の破壊の歴史 | II -- 文化財の修復と復興の歴史 |
| ④ I -- 文化財の修復と復興の歴史 | II -- 文化財の破壊の歴史 |

問2 次の文ア～ウは呉羽さんと綾羽さんが年表の空欄 A ～ H に入る出来事について調べた文や史料である。文ア～ウと空欄 A ～ H との組合せとして最も適当なものを①～⑥のうちから一つ選べ。 2

- ア 神官らが中心となり、各地で神社と習合していた寺院の仏堂、仏像、仏具などの破壊・撤去運動が起こった。共鳴する民衆も少なくなかった。
- イ 豊富な財力を持つ人物によって多くの寺社で修復や造営がなされたが、その一つである銅鐘の銘文が一因となって、この人物は滅亡する。
- ウ 九州地方の有力豪族が畿内を中心とする勢力に抵抗したが敗北し、石人・石馬などの建造物が多く破壊された。

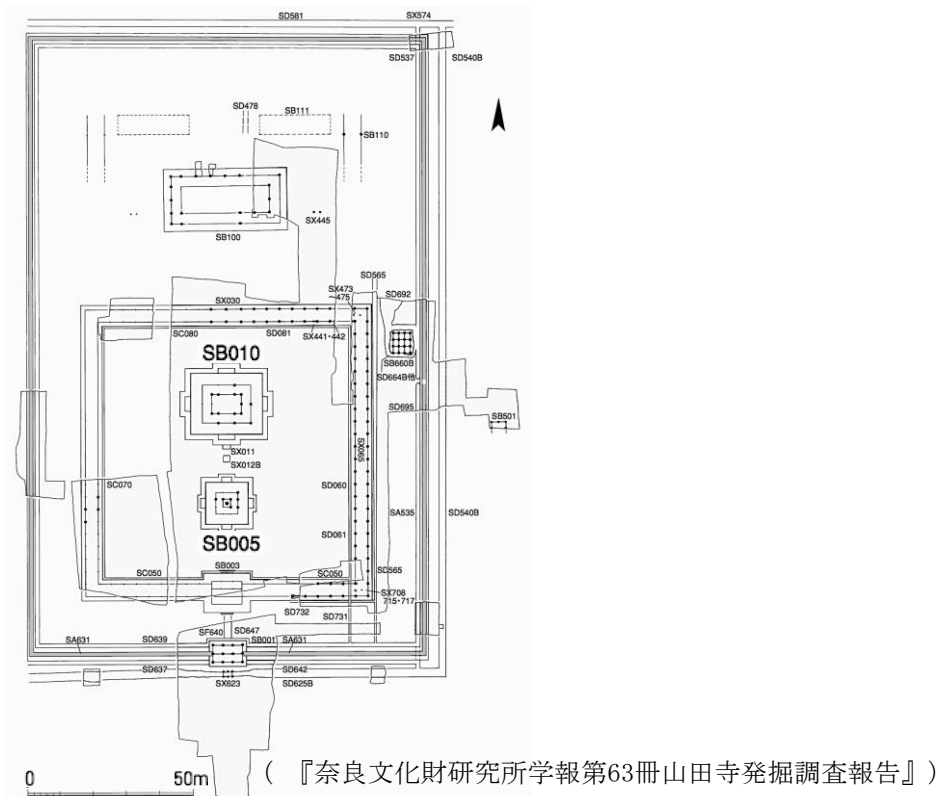
- | | | |
|---|---|---|
| ① ア— C | イ— E | ウ— A |
| ② ア— H | イ— E | ウ— B |
| ③ ア— G | イ— E | ウ— B |
| ④ ア— D | イ— F | ウ— C |
| ⑤ ア— G | イ— F | ウ— A |
| ⑥ ア— H | イ— F | ウ— D |

問3 異なる主題について調べていた呉羽さんと綾羽さんだったが、二人の年表が

興福寺仏頭で共通していることに気付いた。そこで、収集した次の資料ア～エをもとに二人で検討し、あとの【論述の要旨】をまとめた。【論述の要旨】の空欄 X・Y に入る文 a～d の組合せとして正しいものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 3

資料ア

山田寺第V期(10世紀前半～11世紀初頭頃)遺構



資料イ

VI期(11世紀前半～12世紀末頃)の遺構について

…金堂SB010・塔SB005の周辺には焼土を含む厚い層(暗褐色土)があり、堂内を飾った博仏や屋根瓦なども焼けていることから、焼亡したことは明確である。焼亡の年代は、…金堂基壇をめぐる溝SD209～211(塔ではSD196・197)から出土した土器によって、12世紀後半に比定。

(『奈良文化財研究所学報第63冊山田寺発掘調査報告』)

日本史B

資料ウ

十八日。…次いで山田寺に御す(注1)、已に以て夜に入る。前常陸介維時(注2)参り来る。大僧都扶公(注3)、威儀師(注4)仁満ら飯膳を弁備す。

十九日。堂塔を覧る。堂中奇異を以て荘厳す。言語云うを黙し、心眼及ばず。御馬一疋を権大僧都扶公に給ふ。…

(『扶桑略記』治安3年(1023)10月)

(注1) 御す：主語は藤原道長とその一行。高野山への参詣の途中に山田寺に立ち寄った。

(注2) 前常陸介維時：平維時。貞盛の孫。

(注3) 扶公：平安中期の僧侶。元興寺や大安寺の別当などを務めた。

(注4) 威儀師：僧侶の役名。法会など進行役。

資料エ

石川寺(注1) 法号花厳寺、旧記に云ふ、蘇我山田石川麻呂大臣が建立するなりと云々。堂塔、僧坊、鐘樓、経蔵等の跡、皆これ在り。昔は大伽藍なり。

(『多武峯略記』(注2))

(注1) 石川寺：ここでは山田寺のこと。

(注2) 多武峯略記：建久8年(1197)に静胤が編纂。

【論述の要旨】

興福寺仏頭について、資料集には「もともとは、山田寺の薬師三尊像の中尊頭部。1187年に興福寺衆徒により奪取され、興福寺東金堂に移され」とある。その経緯について詳しく調べてみると、資料ア・ウから、興福寺東金堂衆が薬師三尊像を奪う以前には、山田寺は ののではないかと考えられる。ところが、資料イ・エから、東金堂衆は 可能性があることが分かった。破壊された文化財を復興するために別の文化財を破壊するという、当時の社会の実情が浮かび上がってくる。

- a すでに往時の威容を失い、藤原道長が援助を与えていた
- b 藤原道長が感激して言葉を失うほどの威容を誇っていた
- c 興福寺の廢材を利用して山田寺を復興した
- d 山田寺の伽藍の多くを焼き討ちした

① X— a Y— c

② X— a Y— d

③ X— b Y— c

④ X— b Y— d

問4 発表に備えて、綾羽さんは法隆寺を見学した。

(1) 綾羽さんは、下線部④の論争に興味を持ったので、法隆寺でボランティアの方の説明を聞き、再建論の根拠をI～IVのカードにまとめてみた。

I

『日本書紀』天智9年3月30日条に「法隆寺災あり一屋も余すことなし」との記載がある。

II

五重塔の心柱の標本を年輪年代法で測定したところ、西暦594年に伐採された木材だった。

III

雲形肘木、卍崩しの組子、人の字形の割束など、建築の細部に中国南北朝文化の様式が見られる。

IV

現在の西院伽藍とは別の位置から若草伽藍跡が発見され、火災の形跡も確認されている。

ところが、クラスの人たちにカードを提示したところ、そのうちの2枚は適当でないとの指摘を受けた。適当でないカードの組み合わせを、次の①～④から一つ選んで答えよ。

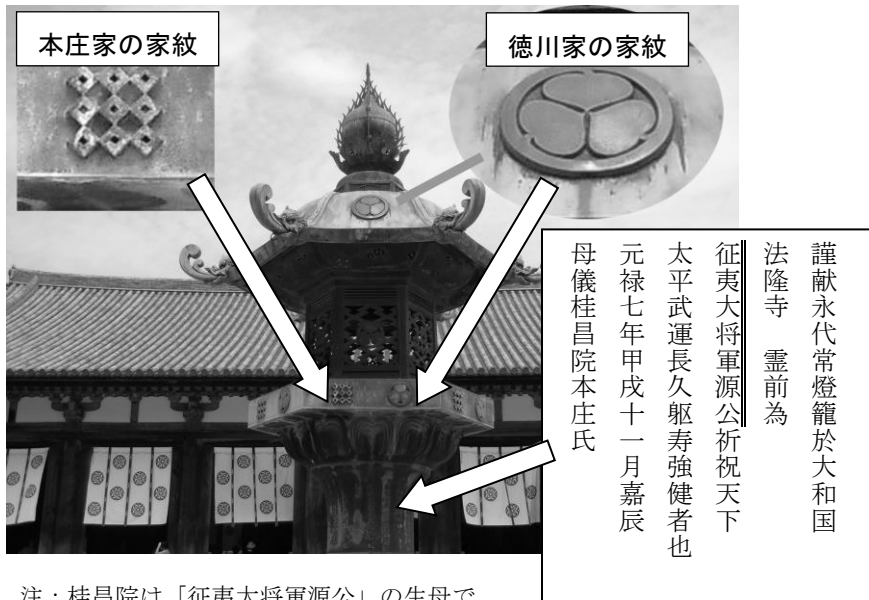
- ① I・III ② I・IV ③ II・III ④ II・IV

(2) 綾羽さんは、講堂の前に写真のような燈籠があることに気がついた。燈籠には文章が浮き彫りにされており、また2つの家紋が確認できた。

この文章中の「征夷大將軍源公」について述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 流人身分から挙兵して関東地方に勢力を伸ばし、武家政権を築いた。
 ② 半世紀以上に及んだ内乱の鎮圧に成功し、中国王朝から冊封を受けた。
 ③ 半世紀にわたって将軍を務め、息子に将軍を譲っても実験を握っていた。
 ④ 殺伐とした戦国の遺風の払拭に務め、また服喪の期間を定めた。

写真



注：桂昌院は「征夷大將軍源公」の生母で、
その実家が本庄家である

問5 吳羽さんと綾羽さんのは、興福寺仏頭について協働して学習したのをきっかけに、二人の主題に対する政府の対応を調べてみると、各時代により違うことに気付いた。時代ごとの特徴を説明した次の文 a～e について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

- a 寺院や橋梁など公共施設の修復や造営の費用を、商船の海外交易の利益や、個人の私財の供出でまかなうことが多かった。
- b 大規模な開発が進む中で、貴重な遺跡が破壊されることに反対する住民運動が高まった。政府も調査研究のための委員会を設置している。
- c 諸侯の本城を除くすべての支城を破壊させ、設備の修理も自由に行わせないなどの厳しい規制を設けた。
- d 建造物や宝物などの中から重要なものを政府が指定し、海外への輸出を禁止し、保護するための予算を設けた。
- e 国家財政を注入して長方形を基本とした都市を建設した際、既存の古墳が消滅したり一部を削られる場合があった。

- ① a — e — c — b — d
- ② a — c — e — d — b
- ③ e — c — d — a — b
- ④ d — b — a — e — c
- ⑤ b — e — a — d — c
- ⑥ e — a — c — d — b

第2問 原始・古代の政治・外交・文化・経済に関する次の文章A～Cを読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

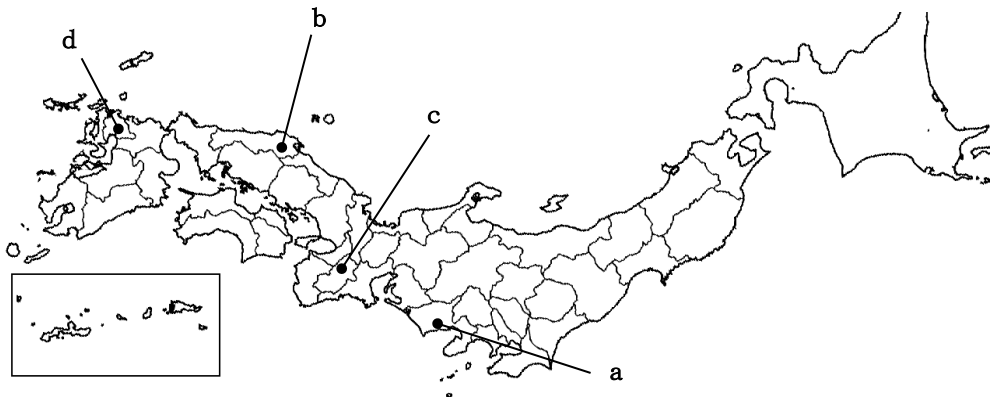
（配点 16）

A 日本の古代史は東アジア世界との関係を抜きにしては成り立たない。縄文文化は農耕を伴わない新石器文化であるが、これは北ユーラシア地域に共通した特徴であるとされている。①弥生文化を構成する水稻農耕などの新しい技術は、中国や朝鮮半島から伝えられたものである。また、各地に小国が分立してから統一国家が誕生する過程の中で、②中華王朝や朝鮮半島諸国との外交が目的を変えながら継続的に行われた。

問1 下線部①に関連して、弥生文化はこうした新来的要素と、縄文以来の伝統的要素とから成り立っていることが指摘されている。次の文X・Yのうち、新来的要素の例として適切なものと、該当する遺跡の地図中に示した場所a～dの組合せとして正しいものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 7

X 荒神谷遺跡は、1984年の発掘調査で、従来日本で知られていた弥生時代銅剣の総数約300本をはるかに上回る358本という大量の銅剣が出土した。

Y 吉野ヶ里遺跡は1986年以来、発掘調査されている大規模な環濠集落で、100軒以上の竪穴住居が営まれていた。



- ① X—a ② X—b ③ Y—c ④ Y—d

日本史B

問2 下線部④に関連して、外交についての資料Ⅰ～Ⅲと主たる外交目的を説明した文
ア～ウを組み合わせ、それを古いものから時代順に並び替えた場合、組合せとして正
しいものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 8

資料Ⅰ

自ら使持節都督倭・百濟・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓七国諸軍事安東大將軍倭
国王と称す。

資料Ⅱ

其の国書に曰く「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや云云」
と。帝、之を覽て悦ばず、鴻臚卿に謂ひて曰く「蛮夷の書、無礼なる有らば、復た以
て聞する勿れ」と。

資料Ⅲ

永初元年、倭の国王帥升等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。

ア 中華王朝の権威を利用して、朝鮮諸国に対して有利な政治的地位の獲得を目指した。

イ 小国間の地位を高めるために、中華王朝の権威を借りようとした。

ウ 中華王朝の冊封体制からあえて離脱することで、国際的地位を高めようとした。

- ①〔Ⅰ―ア〕→〔Ⅱ―イ〕→〔Ⅲ―ウ〕 ②〔Ⅰ―ア〕→〔Ⅲ―ウ〕→〔Ⅱ―イ〕
③〔Ⅱ―ウ〕→〔Ⅰ―ア〕→〔Ⅲ―イ〕 ④〔Ⅱ―ウ〕→〔Ⅲ―イ〕→〔Ⅰ―ア〕
⑤〔Ⅲ―イ〕→〔Ⅰ―ア〕→〔Ⅱ―ウ〕 ⑥〔Ⅲ―イ〕→〔Ⅱ―ウ〕→〔Ⅰ―ア〕

B 古代国家は、東アジア世界の情勢に対応し、隋唐の律令制度を導入して◎行政制度や税制体制を整えていった。10世紀以降、唐が滅亡するなどの東アジアは大きく変革し、①その影響は日本にも一部及び、律令国家は動揺した。一方、◎文化の面では外来文化をふまえつつ、日本の風土に合うように工夫された文化が生まれた。

問3 下線部◎に関連して、遺跡から出土する木簡からは、律令制度の運用の実態を推し量ることができる。次のA～Dの木簡について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9



A 紀伊国日高郡調塩三斗
(出土…平城宮宮城東南隅地区)



B 肥前国目正八位上矢口口
(出土…平城宮大膳職地区)



C 粟田申民部省・寮二処衛士
(出土…藤原宮跡東方官衙北地区)



D 大学寮解 申宿直官人事 少允従六位上紀朝臣直人
(出土…平城宮宮城東南隅地区)

(国立奈良文化財研究所のデータベースより引用)

- ① Aは、都から南海道を経由して紀伊国へ運ばれた荷につけられていた札である。
- ② Bの「矢口口」は、正八位上という位階を持つ肥前国の地方豪族である。
- ③ Cによって、平城遷都前にも「民部省」や「衛士」の存在したことがわかる。
- ④ Dの「紀朝臣直人」はすでに封戸を与えられており、子には蔭位が適用される。

日本史B

問4 下線部㊸に関連して、次の史料に関して述べた文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 10

史料

時に新皇勅して云はく、「……今の世の人、必ず撃ちて勝てるを以て君と為す。
縦^{たと}ひ我が朝に非ずとも、僉^{みなひと}人の国(注1)に在り。去ぬる延長年中(注2)の大契丹(注3)王
の如きは、正月一日を以て渤海の国を討ち取りて、東丹の国に改めて領掌(注4)せり。
なんぞ力を以て虜^{りょりょう}領(注5)せざらむや。」(『将門記』)

(注1) 僉人：他の国々。

(注2) 延長年中：西暦923～930年

(注3) 大契丹：契丹。

(注4) 領掌：領地として支配すること。

(注5) 虜領：ある地域や財物を軍事的に制圧し、統治下に置くこと。。

- a 平将門は、武力で新しい国を立てることは悪いことであると考えている。
- b 平将門は、契丹が渤海を滅ぼしたことを知っていた。
- c この争乱は、中央貴族が武士の実力を認識する契機となった。
- d この争乱で、源氏が平氏にかわって東国に勢力を伸ばすことになった。。

① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問5 下線部㊹に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 勅撰和歌集が次々と編纂され、蜻蛉日記などの仮名日記も書かれた。
- ② 小野道風・藤原佐理・藤原行成は、和風の書の名手として三蹟と称された。
- ③ 末法思想を背景に、極楽往生を願う浄土教が貴族の間で広まった。
- ④ 各地に残る神話・伝承や郷土の産物を筆録することが命じられた。

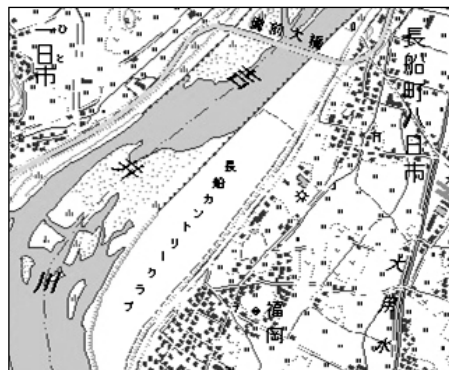
第3問 中世の社会・文化に関する次の文章A～Bを読み、下の問い（問1～5）に答えよ。（配点 16）

A 現在使われている地名の中には、歴史の痕跡を残しているものもある。そのような例として、次の地図Ⅰ～Ⅳを選んでみた（いずれも国土地理院発行の2万5千分の1地形を元に作成したもの。縮尺は同じではない）。

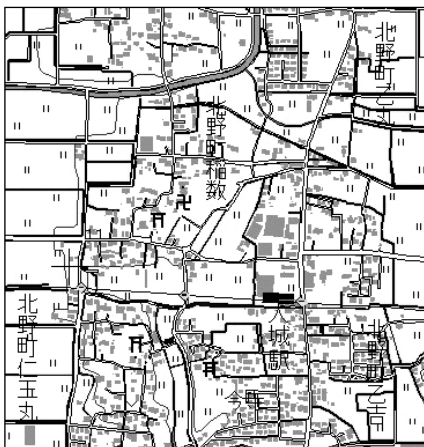
例えばⅡの図中に「一日市」「八日市」の文字が見えるが、この地名は①定期市が開かれていたことを示している。また「長船町」の文字が見えるが、②鎌倉時代の刀工として著名な長船長光はこの地域の出身である。また、Ⅳには図中に「大手町」という地名があることから、城下町であったことが推測できる。茨木は片桐且元の城下町であり、図中に「片桐町」という字も見える。③戦国大名は積極的に城下町を建設し、さまざまな政策で富国強兵に取り組んでいた。



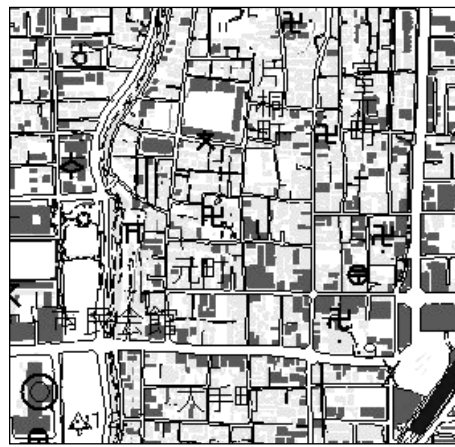
Ⅰ（広島県福山市）



Ⅱ（岡山県備前市）



Ⅲ（福岡県久留米市）



Ⅳ（大阪府茨木市）

日本史B

問1 地図Ⅰ～Ⅳについて述べた次の文a～dのうち、正しいものの組合せを下の①～④のうちから一つ選べ。 12

- a 地図Ⅰの中央近くに「地頭分」の文字が見える。この地名は、鎌倉時代にこの地域で地頭請が行われた可能性が高いことを示している。
- b 地図Ⅱには「福岡」の文字が見える。ここにあった福岡市は、『一遍上人絵伝』に描かれている。
- c 地図Ⅲには、「乙丸」「仁王丸」「乙吉」といった、人名のような地名が散在している。これは名田の名残である。
- d 地図Ⅳには、T字路など見通しの悪い道路が多く見られる。これは外敵の侵入を妨害するため、城下町以外では自治都市や門前町に特徴的である。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問2 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 13

- X 鎌倉時代には、まだ、月に3回しか開かれない三斎市が一般的であった。
- Y 戦国時代には、新興商人を城下町に集めるために楽市を行う大名も現れた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問3 下線部㉔に関連して、中世の芸術について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下の①～⑥のうちから一つ選べ。 14

- Ⅰ 初層・中層は寝殿造，上層は禅宗様の様式による三層の壮麗な楼阁建築が京都に建てられた。
- Ⅱ 宋に三度渡った僧侶が中心となり，新しい建築様式で，内乱で焼失した大寺院の再建が短期間で行われた。
- Ⅲ 山口を拠点に丹後，美濃，京都などを遍歴しながら画僧が，禅宗画の制約をこえた日本的な水墨画を創始した。

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ
 ④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ ⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ ⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

問4 下線部㉕に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 家臣の城下町への集住や喧嘩両成敗などを定めた分国法を持つ大名もあった。
- ② 多くの大名が，商人の活動を保護するために関所を廃止した。
- ③ 領地を指出検地で把握し，その価値を銭で表示する石高制が普及していた。
- ④ 家臣団の団結を図るため，寄親寄子制を取ることが一般的であった。

日本史B

問5 次の図について述べたa～dについて、図からは読み取れない内容の正しい組み合わせを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

- a 明軍も倭寇も、船上で弓や槍などの武器を使って戦っている。
- b この倭寇は中国の密貿易者による後期倭寇である。。
- c 倭寇と明軍との戦闘が、遠洋ではなく沿岸地域で行われている。。
- d 勘合貿易が中断していた期間に描かれた図である。



- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

第4問 近世の外交・文化に関する次の文章A～Bを読み、下の問い（問1～5）に答えよ。（配点 16）

A 16世紀半ば以降、各地でキリスト教徒は増加した。史料1はそのような状況を示している。ところが、豊臣政権以降はキリスト教禁止の動きが進み、江戸時代になると鎖国政策と合わせてより厳しい弾圧が行われた。史料2は、①島原の乱が終結した後も厳しい残党探索が行われていたことを語っている。

秀吉がバテレン追放の方針を示した際、その理由の一つに「大唐、南蛮、高麗え日本人を売り遣し侯事」「日本ニおみて人の売買停止の事」をあげ、南蛮人による人身売買を非難しているが、その秀吉が実施した朝鮮出兵において、史料3に見られるように②多くの朝鮮の人々が「人商い」されていることは見落とせない。

史料1

本年(注1)、日本に在るキリシタンの数はビジタドール(注2)の得た報告に依れば、十五万人内外で、その中には豊後、有馬及び土佐のキリシタンの王（大友宗麟・有馬晴信・一条兼定）の外にも高貴な人で親戚及び家臣と共に、キリシタンになった者が多数ある。キリシタンの大部分は下の地方、有馬・大村・平戸・天草等に居り、又五島及び志岐(注3)の地にもキリシタンが在って、その数は十一万五千人に上り、豊後国には一万人、都地方には二万五千人ある。（『耶蘇会日本年報』）

史料2

琉球国に命じて曰く、原城既に陥ち、貴理師旦(注4)其の巢穴を失ふ。恐らくは余党の奔逸有らむ。若し爾が国に至らば、輒ち捕へて之を送るべし。即ち之を殺す能はず。

（1638年5月に薩摩藩主島津光久が琉球へ出した指示）

史料3

日本よりもよろづの商人来たりしなかに、人商いせる者来たり、奥陣より(日本軍の)後につき歩き、男女老若買い取りて、繩に首をくくり集め、先へ追い立て…

（慶念(注5)『朝鮮日々記』慶長2年(1597)11月19日）

(注1) 本年：西暦1582年。

(注2) ビジタドール：イエズス会総会長代理として特殊な任務遂行のために派遣される特使。

(注3) 志岐：壱岐のこと。

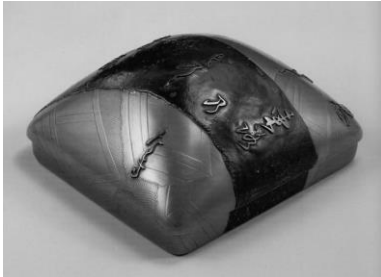
(注4) 貴理師旦：キリシタン。

(注5) 慶念：臼杵城主太田一吉に仕え、慶長の役に従軍した医僧

問1 史料1・2に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 史料1の信者の人数は合計計算が合わず、誇大に報告しようとしていることが推測できる。
- ② 史料1から、キリシタンになったのは大名一族に限られることが分かる。
- ③ 史料2から、当時の薩摩藩と琉球との間に上下関係があったことが分かる。
- ④ 史料2から、キリシタンは発見されるとその場で処刑されたことが分かる。

問2 下線部②の時期に成立した作品を、次の①～④のうちから一つ選べ。 18



①



②



③



④

問3 下線部㉔に関連して、当時多くの朝鮮の人々が日本に連行された。このような行為の結果について、**X・Y**のような評価が可能である。それぞれの評価を根拠付ける情報を**X**は **a・b**、**Y**は **c・d**から選ぶ場合、**評価と根拠**の組合せとして最も適当なものを、下のの①～④から一つ選べ。 19

評価

X これによって、朝鮮の進んだ技術が日本に伝わり、技術や生活文化が発展した。

Y これによって、朝鮮の人々の反日的感情が強まった。

根拠

- a 日本軍は朝鮮から銅版活字を略奪した。これは日本人が初めて知った活字技術であり、慶長勅版本などが刊行され、のち江戸時代の出版文化の発達をもたらした。
- b 鍋島直茂の軍は朝鮮陶工の李参平を連行し、領国で陶磁器の生産を開始した。これが有田焼であり、全国各地、さらにはオランダを介してヨーロッパでも知られるようになった。
- c 朝鮮の富山浦・乃而浦・塩浦には日本人が居住していたが、彼らを朝鮮側は「恒居倭」、その居住地を「倭館」と呼び、その活動を制限しようとした。
- d 徳富蘇峰は『近世日本国民史』の中で、「日本が併合しつつ、之を統治する上に於いて、最も困難を感じる一は、朝鮮役の記憶だ、凡そあらゆる朝鮮人は皆な此役を記憶している」と述べている。

- ① X—a Y—c ② X—a Y—d
- ③ X—b Y—c ④ X—b Y—d

日本史B

B 右の写真は、伊豆韮山に江川英竜が建設させた反射炉である（ただし後世の補修を受けている）。江川は蘭学者としても高名であり、尚齒会とも交友があったが、㉔モリソン号事件を契機に起こった蛮社の獄で尚齒会は弾圧された。江川は弾圧を、天保の改革で登用されて西洋砲術の導入を担い、さらに㉕ペリー艦隊の来航に際して台場建設の中心となった。



問4 下線部㉔に関連して、19世紀の情勢について述べた次の文a～dのうち、正しいものの組合せを、以下の①～④のうちから一つ選べ。

20

- a 屋久島に潜入したイタリア人宣教師が、捕らえられ尋問を受けた。
- b オランダ船を偽装したイギリス船が、長崎に侵入して薪や水などを要求した。
- c 人形浄瑠璃脚本家の竹田出雲が『仮名手本忠臣蔵』を著した。
- d 蘭方医の緒方洪庵が、大坂に適塾を開いた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問5 下線部㉕に関連して、ペリー来航後の出来事について述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下の①～⑥のうちから一つ選べ。

21

- I フランス軍事顧問団の指導での新しい陸軍を整備した。
- II 諸藩の参勤交代を3年に1度に改め、藩主の妻子の帰国を許可した。
- III 諸藩に対して大船建造を解禁して海防の強化を命じた。

- ① I—II—III ② I—III—II ③ II—I—III
④ II—III—I ⑤ III—I—II ⑥ III—II—I

第5問 石橋さんのクラスでは、「歴史の説明」の授業に際し、「近現代史の中で国民生活と文化」について、戦前からの流れやその後への影響を含めて発表することになった。そこで、石橋さんたちの班は、それぞれの時代の特徴について調査し、ホワイトボードに時代順に整理してみた。この項目1～4を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。

(配点 12)

ホワイトボード

1. 明治期

① 政府が西洋の文化を積極的に導入する

積極的に**2. 大正昭和初期**

② 文芸や古典が比較的安価で入手できるようになる

3. 戦中期

③ 自由な文学・芸術活動ができなくなる

4. 戦後期

④ 生活様式の西洋化が進む

問1 下線部①に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 22

X 工部省が美術学校を設置し、イタリア人教師による西洋美術教育が行われた。

Y フランスに倣った学制を実施し、身分・性別に区別なく国民皆学を目指した。

① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問2 下線部⑤について、次の史料A・Bについて述べたa～dのうち、正しいの組み合わせを①～④のうちから一つ選べ。 23

史料A 『現代日本文学全集』の予約広告

善い本を安く読ませる！この標語の下に我社は出版界の大革命を断行し、特権階級の芸術を全民衆の前に解放した。一家に一部宛を！芸術なき人生は真に荒野の如くである。我国人は世界に特筆すべき偉大なる明治文学を有しながら、英国人のセクスピア^(注1)に於けるが如く全民衆化せざるは何故だ。これ我社が我国に前例なき百万部計画の壮図を断行して全国各家の愛読を俟つ所以だ。日本の第一の誇！明治大正の文豪の一人残らずの代表作を集め得た其事が現代第一の驚異だ。そして一冊一千二百枚以上の名作集が唯一円で読めるのが現日本最大の驚異だ。



史料B 読書子に寄す—岩波文庫発刊に際して—

…その広告宣伝の狂態はしばらくおくも、後代にのこすと誇称^(注2)する全集がその編集に万全の用意をなしたるか。千古の典籍の翻訳企図^(注3)に敬虔^(注4)の態度を欠かざりしか。さらに分売を許さず読者を繫縛して数十冊を強うるがごとき、はたしてその揚言^(注4)する学芸解放のゆえんなりや。吾人は天下の名士の声に和してこれを推挙するに躊躇^(注4)するものである。…この文庫は予約出版の方法を排したるがゆえに、読者は自己の欲する時に自己の欲する書物を各個に自由を選択することができる。

- (注 1) シェイクスピアのこと。
- (注 2) 自慢して大げさに言うこと。
- (注 3) うやまいつつしむ気持ちの深いさま。
- (注 4) 声を大にして言うこと。

- a 史料Aは、いわゆる円本の予約広告である。
- b 史料Aは、明治の終わりに出された広告である。
- c 史料Bは史料Aのような全集の販売方法に対して懐疑的であり、それとは異なる方法で文庫を販売すべきであると主張している。
- d 史料Bは史料Aのような全集の販売方法を称賛しており、これと同様の方法で文庫を販売すべきであると主張している。。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問3 下線部㉔について、通子さんはその実例をⅠ～Ⅳのカードにまとめてみた。クラスの人たちにカードを提示したところ、そのうちの2枚は適当でないとの指摘を受けた。適当でないカードの組み合わせを、次の①～④から一つ選んで答えよ。 24

Ⅰ
谷崎潤一郎の小説『細雪』は、軍部の圧力で連載が何度も中断した。

Ⅱ
有島武郎は、『カインの末裔』『或る女』などを著したが、自殺した。
[E]

Ⅲ
火野葦平の小説『麦と兵隊』は、発売禁止処分となった。

Ⅳ
プロレタリア文学は弾圧を受け、自らの転向を題材に小説を書いた作家もいた。
[E]

- ① Ⅰ・Ⅲ ② Ⅰ・Ⅳ ③ Ⅱ・Ⅲ ④ Ⅱ・Ⅳ

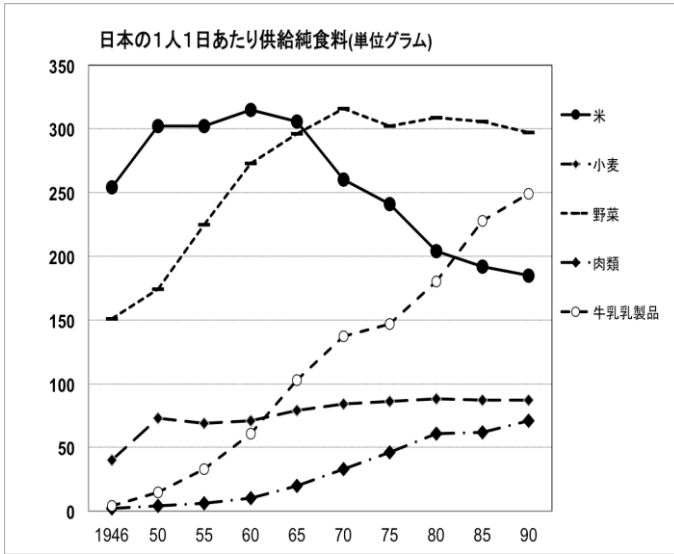
問4 下線部㉕について、石橋さんは、新たに収集した次の資料ア～ウをもとに検討し、【論述の要旨】をまとめた。空欄 X ・ Y に入る文 a～d の組合せとして正しいものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 25

資料ア

…一般家庭の食卓にパン食が浸透し、朝食にトースト・目玉焼き・コーヒーが注目されるようになるのは、1955(昭和30)年以降であった。奇しくもコメの統制が撤廃されたのが1955(昭和30)年であったが、パン食に代表される粉食によって、食卓を洋風にすることが文化的であるとして理想化された。パン食の浸透は、周知のように、アメリカの小麦戦略の影響が大きい。

日本史B

資料イ



※供給純食料とは、国内消費量のうち食用の分を、廃棄する分を除いた歩留まりを乗じて算出した純食料供給量のこと

矢野恒太記念会編
『数字でみる日本の百年』
(改訂第6版：平成25年)

資料ウ

…国民1人が1年間に消費する米の量は昭和37年度（1962年度）の118キロをピークに減り始め、平成20年度（2008年度）には59キロと約半分になった。この数値からもわかるように農家の低所得は日本人の米離れが背景にある。…日本は農家の約40%が「兼業農家」である。そうでなければ計算事例にみるように平均的な農家の所得だけでは生活できないのである。

【論述の要旨】

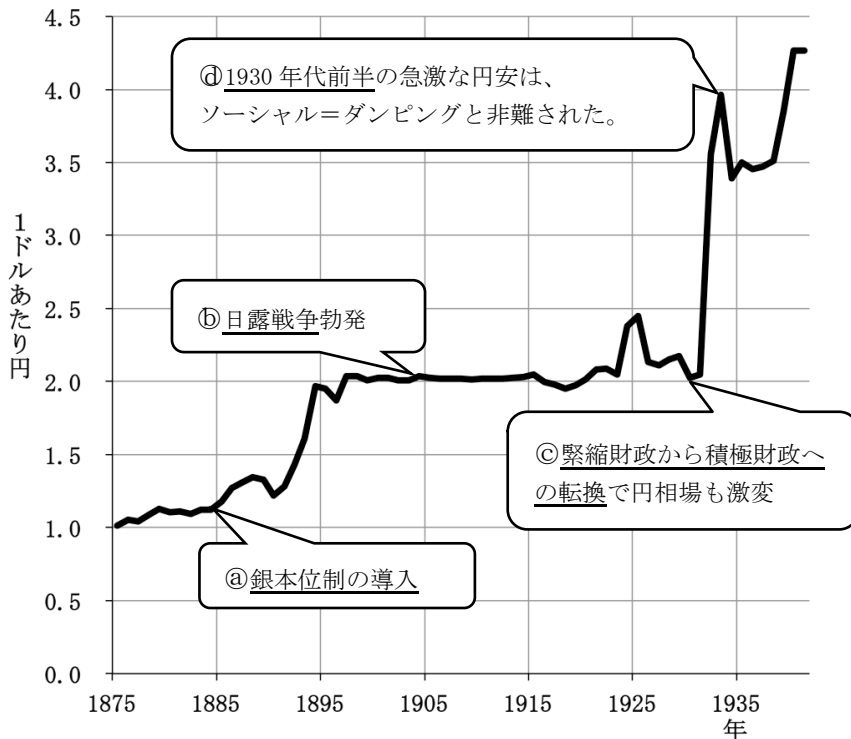
資料ア・イをもとに、ことが分かる。また、資料イ・ウから、ことが分かる。このように、生活文化の西洋化は風俗や流行だけでなく、社会全体に影響を与え、現在に続いていることが分かる。

- a 1960年代以降、米の消費が減少している背景には食卓の洋風化があった
 - b 1980年代以降、小麦の消費が米の消費を上回った背景にはパン食の普及があった
 - c 1990年以降は米の消費は上昇したが、兼業農家は依然として多い
 - d 1990年以降も米の消費は低迷が続き、兼業農家は依然として多い
- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

第6問 近代史に関するまとめの授業で、旭さんと丘さんはドル円為替相場の変化をもとに整理しようと考えた。次の資料Aは、1875年から1945年までのドル円為替相場の変化をグラフにして、旭さんがコメントを付け加えたものである。次の資料や文章を読み、下の問いに答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

(配点 22)

資料A



(『日本銀行百年史』より)

問1 下線部④に関連して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下の①～⑥のうちから一つ選べ。 26

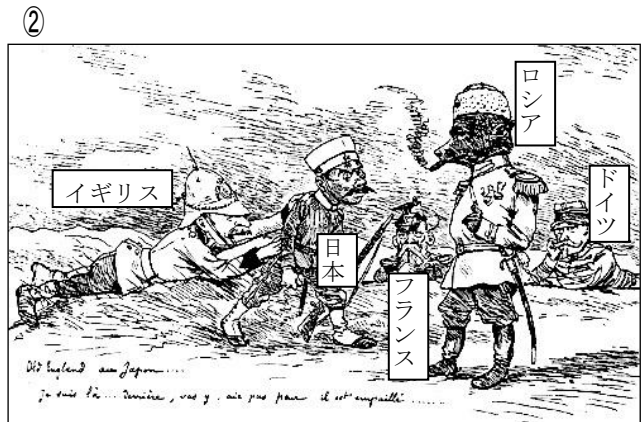
- Ⅰ 通貨単位を円・銭・厘とし、金本位制を採用した。
- Ⅱ 国立銀行条例が改正され、全国に150を越える国立銀行が設立された。
- Ⅲ 金の含有量を減らした金貨を発行して、金銀交換比を海外と同等にした。

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ
- ④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ ⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ ⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

問2 下線部①に関連して、丘さんは日露戦争に対する風刺画を集めて比較し、次のようなメモをまとめた。このメモの内容に当てはまるものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 27

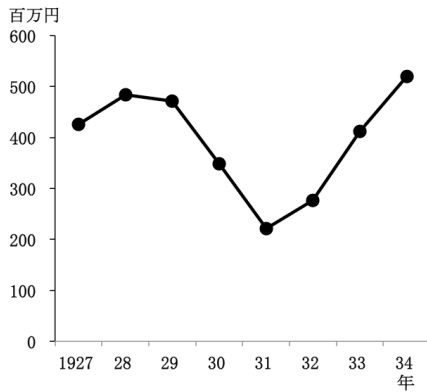
メモ

日露戦争を題材とした風刺画は非常に多く、この戦争が注目されていたことが分かる。それらの中で注目したいのがこの絵である。これは1895年に描かれたもので、9年も前に日露戦争を予言していたことになる。また、それを支えた当時の国際情勢も描かれている。

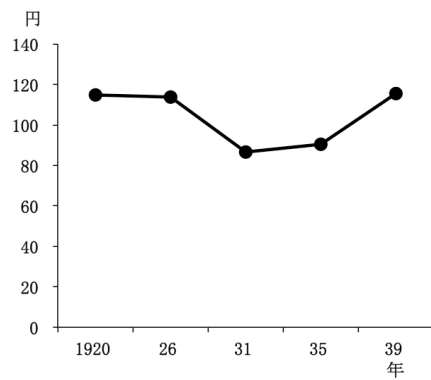


問3 下線部㉔による影響を示すデータとして**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

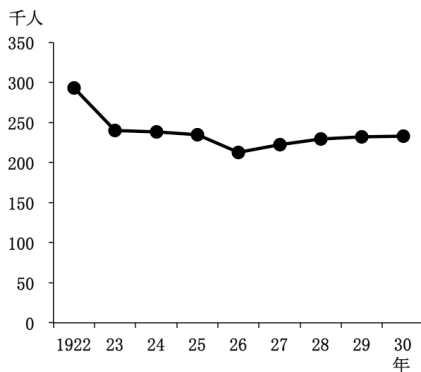
① 中華民国への輸出額



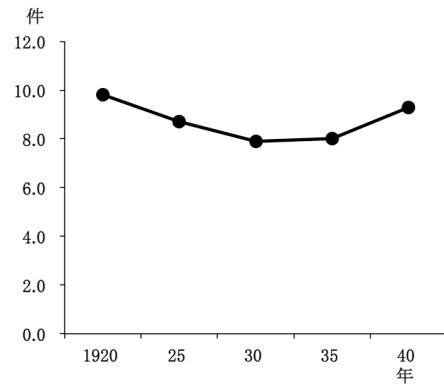
② 二人以上勤労者世帯の収入と支出



③ 陸軍の兵員数



④ 千人あたり婚姻率



問4 下線部㉔の時期の出来事について述べた次の文 a～d のうち、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 29

- a 綿織物の輸出が世界第1位になった。
- b 製糸業の輸出が世界第1位になった。
- c 重化学工業の生産額が繊維工業を上回った。
- d 民有鉄道の営業キロ数が官有鉄道を上回った。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史B

問5 下線部㉔～㉑の時期の政治情勢について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 下線部㉔の時期には、自由民権運動が地主や豪農、都市の商工業者などにも広がり、政府は集会条例を発してこれを抑えようとした。
- ② 下線部㉕の時期には、選挙権の納税資格が3円に引き下げられ、小選挙区制が導入された。
- ③ 下線部㉖の時期には、アメリカで調印された海軍軍縮条約を巡って、いわゆる統帥権干犯問題が起こった。
- ④ 下線部㉗の時期には、青年将校が首相官邸に押し入り、首相を射殺する事件が起こった。

問6 資料Aから読み取れる情報の中から正しいものをX～Zから選び、選んだ情報と歴史的事実a～cの組み合わせとして正しいものを、次の①～⑨のうちから一つ選べ。

31

資料Aから読み取れる情報

- X この約70年間に、ドルに対する円の価値は約4倍になった。
- Y 対外戦争が行われると、ドル円為替相場に必ず大きな影響が出ている。
- Z 金本位制度を採用しない期間、ドル円為替相場は不安定になっている。

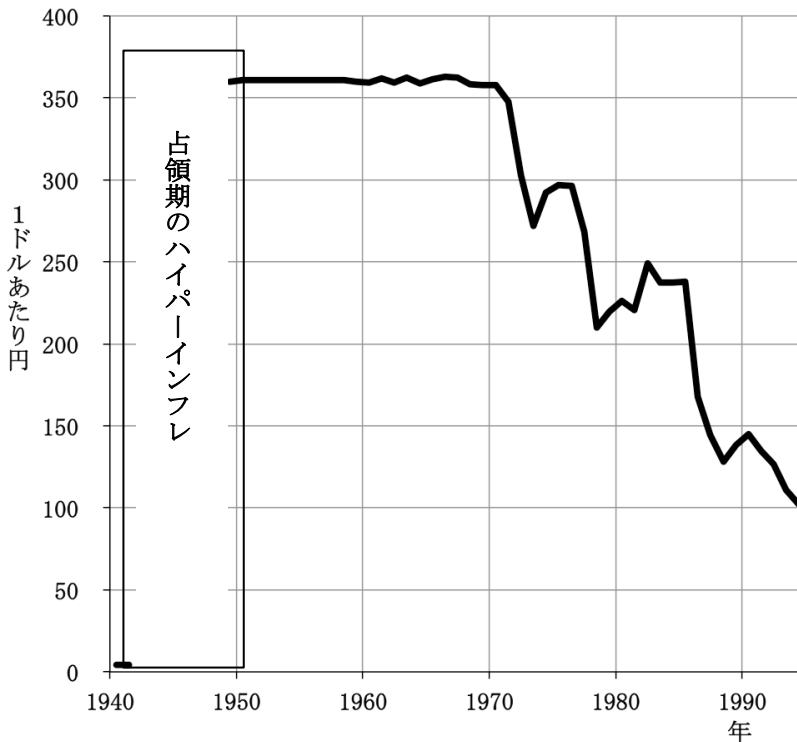
歴史的事実 [a～cはすべて正しい]

- a 第一次世界大戦で空前の好況となり、アメリカ向け生糸輸出も大きく伸びた。
- b 財閥系銀行はドルを大量に買い入れ、金輸出再禁止後に巨額の利益を得た。
- c 日露戦争では賠償金はなく、戦費は外債に頼っていたため経済恐慌に陥った。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ① X—a | ② X—b | ③ X—c |
| ④ Y—a | ⑤ Y—b | ⑥ Y—c |
| ⑦ Z—a | ⑧ Z—b | ⑨ Z—c |

問7 次の資料Bは、丘さんがさらに1940年から1995年までのドル円為替相場の変化をグラフにしたものである。これについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

資料B



（『日本銀行百年史』より）

- ① 戦後の日本は、平和憲法と民主主義を基本に発展したが、国際的な評価は向上せず、それを反映して円の価値は長期的には下降している。
- ② 二度の石油危機が日本経済に与えた影響が円安という形で現れているが、両者を比較してみると、第二次石油危機の影響の方が軽微だったことがわかる。
- ③ 傾斜生産方式、金融緊急措置令、ドッジプランなどの経済政策は、ドル円為替相場に全く影響を与えていないことが分かる。
- ④ 高度経済成長によってGNPは増大したが、建築資材などの輸入拡大によって貿易赤字が拡大したので、ドル円為替相場は長期間変化しなかった。